

愛西市の未来を考える



三輪俊明 議員

496万円、24年度末の起債残高17億4千172万円、最終償還年度は平成42年度。

質問

統合庁舎事業の返済計画は。

企画部長

公共事業整備基金20億円を充当すると、起債額22億7千290万円、償還は多いときで年間1億8千150万円となる。

に提案しやすい工夫を検討していきたい。

質問

「学校は楽しいところである」と思つたための取り組みは。

教育部長

共同的な学習を進める。主体的に学習に取り組む態度の育成、わかる授業をする。生き方教育を進める。児童・生徒の交流を進める。

質問

各地区の事業計画は。

企画部長

今後はハード的な事業よりもソフト的な事業と想っている。市全体の計画を各地区でモデル的に行つたらどうかと考えている。

質問

平成27年4月からスタートする予定の「子ども子育て支援新制度」の目的と行政の対応は。

福祉部長

目的は、認定こども園制度への移行を推進し、縦割りの弊害をなくしていく。ソフト事業を設定し、子育てしやすい世の中をつくっていく。現在ニーズ調査を実施し、来年の事業計画に盛り込んでいこうと考えている。

質問

親水公園園体育館総事業費、総合斎苑総事業費の償還額と残額は。

企画部長

親水公園園体育館総事業費51億4千687万円、起債額合計19億4千510万円、平成24年度末までに償還した元利償還額16億2千746万円、24年度末の起債残高8億3千75万円、最終償還年度は平成36年度。総合斎苑総事業費20億8千260万円、起債額合計18億4千260万円、平成24年度末までに償還した元利償還額1億4千

質問

市長と意見交換を行なうタウンミーティング開催は。

総務部長

市長と市民とのタウンミーティングは、実施する方向で進めていきたい。開催時期、開催数は、具体的な段階になれば議会にも報告する。

質問

職員提案件数は。

企画部長

平成21年度8件、22年度91件、23年度29件、24年度23件、25年度現在20件。今後はさら

親水公園園体育館総事業費、元利償還額、起債残高、最終年度

用地関係	H7~H8	約16億6,400万円	約6.6ha
建設事業費	H10~H17	約34億8,287万円	西ゾーンのみ
総事業費		約51億4,687万円	
起債額合計		19億4,510万円	最終年度 平成36年度
元利償還金(H24末)		約16億2,746万円	
起債残高(H24末)		約8億3,075万円	

総合斎苑総事業費、元利償還額、起債残高、最終年度

用地関係	H21	約4億663万円	約19,900m ²
建設事業費	H21~H23	約16億7,597万円	備品等含む
総事業費		約20億8,260万円	
起債額合計		18億4,260万円	最終年度 平成42年度
元利償還金(H24末)		約1億4,496万円	
起債残高(H24末)		約17億4,172万円	

統合庁舎事業費返済計画

公共事業整備基金	20億
起債額	22億7,290万円

※償還について、多いときで年間1億8,150万円(平成28年度)ほどの元利償還となる予定。